

潮音寺だより

第 267 号
平成 18 年 1 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

＜ホームページ＞ <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-10-11

迎春

丙戌

盆画 小島とよ子



拔^ば苦^く与^よ樂^{らく}

胸に刺さった、
苦しみのとげを、
抜いて差し上げましょう。

傷が癒える、
良く効く薬を、
塗って差し上げましょう。

そして、
あなたのために、
あなたと共に、
念仏を申しましょう。

【出典】『大智度論』

戌年にちなんで

平成十八年は戌年ですので、犬(いぬ)にまつわる、ことわざ・故事成語・慣用句を集めてみました。

◎「犬影に吠ゆれば百犬声に吠ゆ」

一匹の犬が、何かの影を見て吠え、あたりのたくさんさんの犬が、その声につられて吠えだてる。だれかが、いいかげんなことを言い出すと、多くの人がよく確かめずにそれを言いふらすこと。「犬虚に吠ゆれば万犬実を伝ふ」ともいつ。

◎犬の遠吠え

弱い犬が遠くの方で人に吠えることから、臆病者が陰で武威張りをすること。

◎犬は三日飼えば三年恩を忘れぬ

犬は三日飼っただけでも、三年間その恩を忘れない。まして人は恩知らずであってはいけない、という意。

◎犬骨折って鷹の餌食

犬が苦勞して追い出した獲物を鷹に取られる。苦勞して手に入れかけたものを他人に奪われてしまったとえ。

◎犬も歩けば棒に当たる

犬もつろつき歩くから、棒で打たれるような目に遭うことになる。じつとしていけばよいものを、出しやばると思いがけない目に遭うという意。後には、出歩いているうちに、思いがけない幸運にぶつかることもある、という意味にも使われる。

◎犬も食わない

何でも食べる犬でさえ食べないという意から、非常に嫌がられ、だれからもまともには相手にされない様子。「夫婦喧嘩は犬も食わない」

◎尾を振る犬は叩かれず

従順な者には、だれもひどいことをしない。「尾を振る犬は打たれず」ともいう。〈類句〉杖の下に回る犬は

打てぬ

◎飼う犬に手を噛まれる

普段、目をかけて世話してやった者から、裏切りの行為を受ける意。

◎垣堅くして犬入らず

家庭内が正しく治まっていれば、それを乱すようなことは外部からはいつてくることはない。

◎鶏鳴狗盜

いやしくつまらない者。鶏の鳴きまねをする人と、犬のようにこそそと人の物を盗む人。

戦国時代に斉の孟嘗君が、秦の昭王のとりことなった時、すでに王に贈ってあった狐の白裘(狐の腋の白毛皮で作ったかわごころも)を、狗のまねをする食客に盗み出させて、王の寵姫に献じて釈放され、逃げて函谷関に來たが、深夜のため関は閉ざされていて、鶏が鳴かねば門は開かれなかった。従者の中に鶏の鳴きまねの上手な者がおり、鶏の鳴きまねをす

ると、あたりの鶏どもが鳴き出したので、関門が開かれ、通過して脱出することが出来た故事。

◎犬猿の仲

きわめて仲が悪い間柄にあること。

◎犬馬の心

主君や親のために尽くす忠誠心をいう。

◎犬馬の齒

自分の年齢をへりくだっていう語。犬や馬のようにむだな年齢を重ねるという意味。「齒」は「齡」と同じ。

◎犬馬の勞

主君または他人のために、力を尽くして奔走すること。他人に対して自分の労苦をへりくだって言う言葉。〈用法〉主人のために犬馬の勞を惜しまない。

◎狡兎死して走狗烹らる

利用価値がある間は使われるが、価値がなくなると捨てられるたとえ。すばしい兎がつかまれば、それを

追いまわしていた狼犬は不用として煮て食われてしまう。敵国が滅びると、戦功のあつた謀臣は、じゃまにされて殺される。

◎蜀犬曰に吠ゆ

見識の狭い人が賢人のすぐれた言行を怪しみ疑って非難するたとえ。蜀は山地で雨が多いので日を見ることが少なく、たまに太陽を見ると犬が怪しんでほえたという。

◎跖の狗彘に吠ゆ

人はそれぞれ主人のために忠義を尽くすたとえ。大盗賊の盗跖に飼われている犬は、主人でなければ聖人の彘にもほえる。

◎虎を描いて狗に類す

物事を学んで失敗するたとえ。素質のない者が優れた人の真似をするとかえって軽薄になる、という意。

◎煩惱の犬は追えども去らず

欲望が人につきまとって離れないのを、犬が人にまといつくのになど

えた語。

◎羊頭を懸て狗肉を売る

見かけだけ立派にして、実質が伴わないたとえ。看板に偽りがあること。羊の頭を看板に出しておき、その実は狗の肉を売ること。「羊頭狗肉」「羊頭を懸けて馬肉を売る」ともいう。

.....

いかがでしょうか。犬が聞いたら怒りそうなものばかりですが、われわれ人間には、耳の痛いものばかりであります。

耐震偽造マンションは、まさに「羊頭狗肉」でありましょうし、頻発する幼女殺人事件の犯人たちは、悲しいかな「煩惱の犬は追えども去らず」、犯罪を繰り返しているようです。せめて、「犬馬の勞」を惜しまず、「垣堅くして犬入らぬ」ように心がけたいものです。

平成十八年度年回表

・ 一 周忌	平成十七年	・ 二十三回忌	昭和五十九年
・ 三 回忌	平成十六年	・ 二十七回忌	昭和五十五年
・ 七 回忌	平成十二年	・ 三十三回忌	昭和四十九年
・ 十三回忌	平成六年	・ 三十七回忌	昭和四十五年
・ 十七回忌	平成二年	・ 四十三回忌	昭和三十九年
		・ 四十七回忌	昭和三十五年
		・ 五十回忌	昭和三十二年

◎住職年頭の挨拶

明けましておめでとうござい
ます。旧年中は、檀信徒各位には、大
変お世話になりました。

宗祖法然上人八百回大遠忌記念
事業推進にあたりましては、多大
なるご援助を賜り、誠に有り難く
存じ上げます。

なお、平成二十三年の大遠忌に
向けて、これからも継続して何か
とお世話にならなくてはなりませ
ん。今後とも、何卒宜しくお願い

申し上げます。

◎平成十八年度の予定

本年も、例年通りですが、年
間行事は次のとおりです。

- ・ 3月21日（火）春彼岸施餓鬼会
 - ・ 8月12日（土）平和公園墓経
 - ・ 8月13日（日）潮音寺納骨堂墓経
 - ・ 8月19日（土）盆施餓鬼会
 - ・ 9月23日（土）秋彼岸施餓鬼会
- 詳細につきましては、また改
めて本誌にて、ご案内いたしま
す。宜しくお願い申し上げます。

雑記

▼表紙

正月号の表紙絵を、以前から、
盆石や盆画の提供をして頂いて
いる、小島とよ子様をお願いを
することになりました。



「竹十犬」笑」に通じるという
ことで、犬の盆画の上下に笹竹
の縁取りをさせて頂きました。

▼位牌堂

十二月十六日に基礎のコンク
リート打ち、二十三日から鉄骨の
建方が始まります。一月二十日が
上棟式の予定です。どうか皆様、
家内安全、商売繁盛、無病息災で
ありますよう祈念します。

▼あれも、れ思いは

巡る戌の年 沐魚